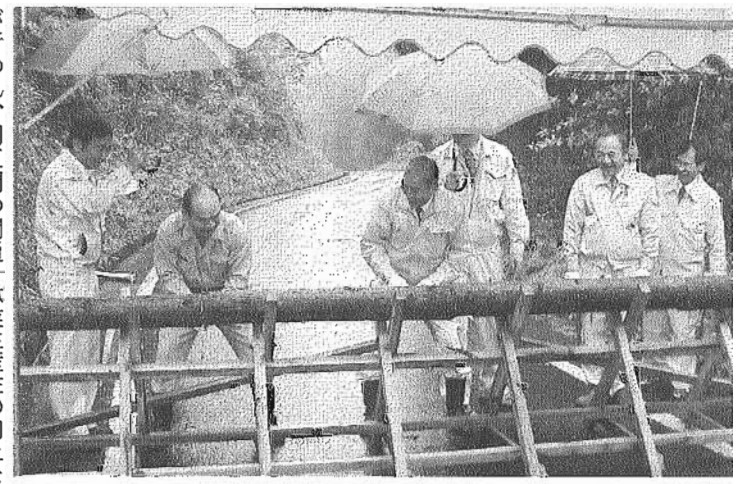
加世田市の林道鳴石線が開通

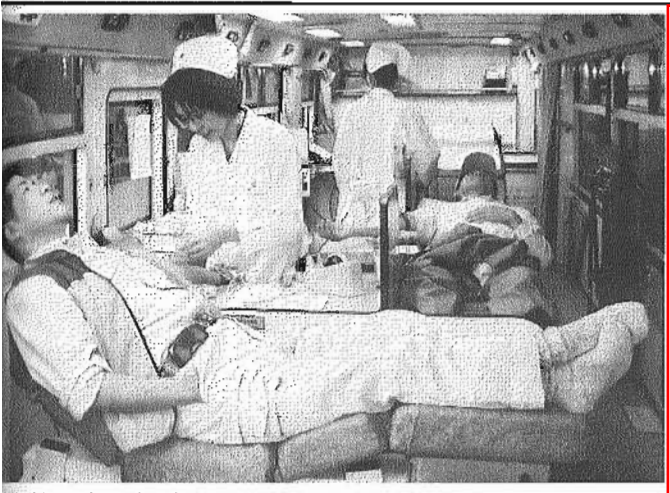
林業生産性の向上へ

県と加世田市が、林業経営の合理化と林業生産性の向上を図ることなどを目的に整備を進めていた林道「鳴石線」がこのほど完成、11日に加世田市鉄山の起点側で川野信男加世田市長をはじめ地元住民、工事関係者らの約80人が出席して開通式が行われ、同区間の開通を祝った。

同事業は、同市の中央部より南部の山林を南北に走る林道で、同市内山田地内の市道「津貫鉄山線」を起点に、津貫地内の市道「千河田之野線」に連絡することで当地域に広がる森林資源を開発し、林業経営の合理化と林業生産性の向上を図り、周辺地域への振興を目的としている。事業期間は、平成7年～14年度までの8カ年。総延長は4138㍍（W4m）で、総事業費は7億4660万2000円となっている。

現地で行われた開通式では、川野市長、大坪弘幸県林業振興課長、来賓の本坊輝雄県議、施工業者の㈱有木組の有木一郎社長、㈱外園組の外園健次社長らが次々に神前に玉串を捧げた後、川野市長、大坪課長、地元代表の泊氏の3人により、地元間伐材の杉丸太をテープに見立ててのこぎりで丸太カットをすると、出席者らから拍手があがった。その後、同市の公用車を先頭に出席者ら全員の車で通り初めを行ない、同区間の開通を祝った。


丸太をカットをする川野市長（中央）ら
＝加世田市の現地で


多数の会員が訪れた献血
＝鹿児島市の日本赤十字血液センターで

鹿児島市管工事協組が献血

血液不足の解消に貢献

鹿児島市管工事協同組合（肥後勝司理事長）は11日、鹿児島市の日本赤十字血液センターで毎年恒例の献血ボランティア活動と健康診断を実施、早朝から会員事業所の社員ら約270人が訪れて血ボランティア活動もすっかり定着し、朝早くから会員や若い従業員ら多数が忙しい仕事の合間をみて同センターに駆けつけ、問診や血圧測定、心電図などの健康診断を受けた。

今回で13回目となる献で採血に応じていた。

仕事の合間に参加した会員の一人は「毎回参加するようにしています。血液検査により自分自身の健康管理もできる。多くの人々に役立てて頂ければ幸いです」と話した。

同センターによると、「これから夏場にかけて血液不足に拍車がかかる。この時期の団体献血は大変ありがたい」と話った。

鹿児島造園技術専門校入校式

12人が技能士目指す

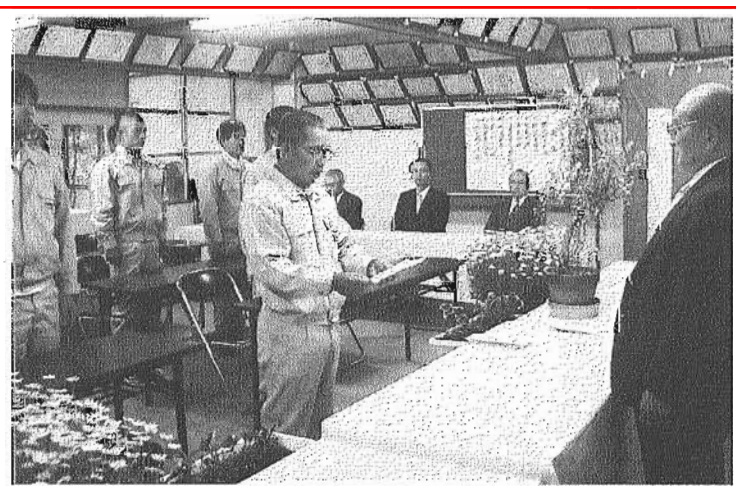
鹿児島造園技術専門校（福永好森校長）は11日、鹿児島市の同校で15年度普通課程第28期生入校式を行い、12人が入校し造園技能士を目指して新たなスタートを切った。

式では、初めに福永校長が「決意を新たに入校された皆さんは、初心を忘れず全員そろって卒業証書を手にできるよう、助け合い、励まし合い頑張ってほしい。また、技術の前に人ありきというように人間として成長し、本校の三つの柱である庭づくり、木づくり、人づくりを貫き、安らぎと潤いをあたえられる技能士に育ってほしい」と挨拶した。

続いて、来賓の山下進県商工観光労働部労働政策課長、福永淳一鹿児島市商工総務課勤労者福祉係長、富永文治県職業能力開発協会専務理事のほか、造園4団体を代表し横瀬精蔵県造園技能協会会長らが「人は自己実現させようと努力するとき輝くことから、仕事を好きになり知識と技能の習得し信頼される人になってください」と祝辞を寄せた。

最後に入校生を代表して出口俊孝さんが「本校の規則と方針を守り、互いに切磋琢磨し、社会に貢献できる技能士になれるよう学科、実技の習得に努めます」と誓いの言葉を力強く述べた。

第28期生の年齢層は22歳から64歳と幅広く、平均年齢が45歳。今後、2年間にわたり毎週末に各課程での訓練に励む。


造園技能士を目指しスタートを切った入校式
＝鹿児島市の鹿児島造園技術専門校で

ゼロ旋回モーアを販売開始

鹿児島クボタ

優れた作業効率が好評

㈱鹿児島クボタは、公共施設や緑地帯、公園などの芝や草管理作業の作業効率などを追求し、その場で360度回転するゼロ旋回モーア（ハイダンプ集草機仕様）を搭載した同製品を開発し、このほど販売を開始、作業効率の良さから法人、団体等をはじめ一般ユーザーからも好評を博している。

ゼロ旋回モーアは、ゼロ旋回機構を搭載することで、樹木周りや狭い場所での旋回を可能にし高効率作業を実現した。また、大容量（400L）のハイダンプ集草機を装備し刈り取った草等を収集でき、1・8㍍の高さまでリフトで上げることができることからトラックなどへの積み込みが座ったまま、簡単にワンタッチでできる。このほか、独自に開発した刈刃で風を発生させ、刈草がつまりにくく、雨が降った後の湿った草や長い草でも集草でき、小雨等での作業を可能にした。

このほか、低重心設計としてトランスミッションの形状を工夫し、シート位置を低くすることにより傾斜地の作業も安定してできるほか、振動式前車輪フレームを搭載することで凸凹にも対応できる。

問い合わせは、㈱鹿児島クボタ特需課（☎095・58・4372）まで。

高い旋回能力を発揮するゼロ旋回モーア

住まいのリフォームコンクール

6月30日まで受付け

住宅リフォーム・紛争処理支援センター（島崎勉理事長）は、「住まいのリフォームコンクール」の応募を6月30日まで受け付けている。

コンクールは、リフォーム水準の向上と住宅リフォームの促進を目的として、昭和60年から実施している。20回目を迎えた今回は、従来の国土交通大臣賞などに新たに「住宅リフォーム推進協議会会長賞」を設け、合計5賞とした。

応募資格は、リフォームを設計または施工した者で、住宅所有者の同意を得た上で応募すること。応募対象は、13年7月から15年6月までの2年間に竣工した国内での住宅リフォームにかかわるすべての工事。ただし、リフォーム後に住宅であるものに限る。

応募部門は、①総合②居室③水回り④高齢者・身障者⑤エクステリア⑥マンションーの6部門で、1作品に2部門以上の内容で応募する場合は総合部門となる。

応募締め切りは6月30日必着。結果は8月下旬に発表する予定。入賞者の表彰式と作品発表は10月中旬に「住宅月間中央イベント」会場で行う。

応募要領などは、同センターのホームページ（http://www.chord.or.jp/）。問い合わせは、同センター（☎03・3261・4567）。

鹿児島市営山之口等駐輪場

16日に開所式

鹿児島市は、市営山之口及び市営二本松自転車等駐車場の開所式を16日午前9時から現地で開く。両駐輪場は5月7日から天文館電車通り以南の山之口町、千日町及び呉服町の一部を自転車等の放置禁止区域に指定することから整備が進められてきた。

15日に鹿児島地区合併協議会

鹿児島市は15日午後3時30分から、鹿児島市のかごしま市民福祉プラザで第3回鹿児島地区合併協議会を開く。

迅速な作業と適正価格でまごころサービス
エレベータ・エスカレーター
立体駐車場全般
保守点検専門
マーキュリーアシェンソーレ㈱
本社　鹿児島市下荒田1-20-6
TEL(099)257-9113
FAX(099)251-9418
支社　鹿児島・福岡・東京

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ